

謹賀新年

2026年新年あいさつ



広島県労働者福祉協議会
会長 久光 博智

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、県労福協の諸活動に温かいご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「助け合い・支え合い」の力を高める労福協運動

先行き不透明な時代が続くいまだからこそ、「助け合い・支え合い」を基軸とする労働運動、そして私たち労福協運動の果たすべき役割と使命は、一層重要性を増しています。

広島県労福協は、創業の精神である「福祉はひとつ」を合言葉に、「労働者のための福祉政策の実現」「自主福祉事業の推進」「地域社会貢献活動」の三本柱のもと、力強く活動を展開してまいります。

労働者自主福祉運動のさらなる飛躍

自主福祉運動の推進は、私たちの基盤であり最優先事項です。福祉事業団体である中国労働金庫、こくみん共済 coop、広島県労働会館の利用促進と基盤強化を通じ、職場と地域に「助

け合い・共助の輪」を広げてまいります。

これらの福祉事業団体は、労働組合の運動から誕生し、共助の拡大に貢献してまいりました。昨年は「国際協同組合年」を迎えた、福祉事業団体がSDGsに貢献する協同組合としての価値を社会に広く発信する機会となりました。

皆様には、福祉事業団体の理念やサービスを「知らせる・知ってもらう」活動（口コミ）にご協力をお願いいたします。労働組合と福祉事業団体が「ともに活動する仲間」として連携を強化し、「働く人が幸せと豊かさ（Well-Being）を実感できる自主福祉運動」を力強く進めてまいります。

地域共生社会づくりへの貢献と活動の深化

昨年は、「食品ロスと食の支援活動」である「フードドライブ」に新たな挑戦をいたしました。連合広島地協と地区労福協が連携し、地域メーデーの5会場で実施し、多くの食材を支援団体へ届けることができました。この知見を活かし、福山地区労福協では、夏休み「こども食堂」と「子供の居場所づくり」を合わせた活動へと広げています。

本年は、「継続」と「地道な広がり」を念頭に、ライフサポートセンターでの生活相談と合わせ、「労働者福祉の拠り所」としての機能を一層強化してまいります。行政や多様な団体との連携を深めることで、「単なる足し算ではなく、掛け算となる」相乗効果を発揮し、持続可能な「地域共生社会」づくりの確かな一翼を担う決意です。

本年も広島県労福協に対しますご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

公共・福祉事業団体

年頭のあいさつ



労働者福祉中央協議会

会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、7月に実施された第27回参議院選挙により、衆参両院で少数与党となる政治情勢となり、政局の構図が大きく変化しました。こうした政治情勢の中、食料品やエネルギーなど生活に直結する物価の上昇が続くなど、国民生活の厳しい状況は改善されていません。

労福協が進める「高等教育費負担の軽減」については、昨年3月に「大学等における修学の支援に関する法律」(大学等修学支援法)の改正が実現しました。しかし、支援対象は扶養する子が3人以上の多子世帯など一部の拡充に留まる結果となりました。高等教育への進学率が9割近くに上る中、同じ学生であっても支援を受けられる人と受けられない人が発生しており、学生間でも分断が生まれています。私たちには引き続き、教育の機会

均等や奨学金制度の改善を通じて、誰もが安心して学ぶことのできる社会の実現に向けた取り組みが求められています。

また、協同組合運動の振興と労働者福祉運動の発展に向けた取り組みとして、昨年は2025国際協同組合年を記念して労働団体・事業団体・地方労福協はもちろんのこと、地域の様々なネットワークとの連携を推進してきました。本年も引き続き、お互いを支え合い助け合う、地域共生社会の実現をめざす取り組みとして、具体的な対応を進めていきます。

今、私たちはめまぐるしく変化する社会に生きています。しかし、社会がいかに変化しようとも、労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」ことは変わりません。私たちは、本年も「福祉はひとつ」の思いの下、社会的な連帯と共助の輪を広げ、労働者福祉の取り組みを力強く展開していくことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



広島県知事

横田 美香

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、人口減少や社会資本の老朽化など様々な課題に直面する中、本県では、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる目指す姿の実現に向けた取組を進めているところであり、令和8年度は、県民の皆様の安全・安心な暮らしを土台に、本県が持つ数多くの

強みを一層磨き上げるとともに、県内外の多様な方々との交流を活性化することで、新たな創造性と活力を生み出し、更に多くの人を惹きつける好循環を生み出すなど、あらゆる分野で本県の発展に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも、本県行政への御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出に当たり、広島県労働者福祉協議会のますますの御発展、並びに、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念しまして、新年の御挨拶といたします。



広島県市長会（広島市長）

会長 松井 一實

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平素より勤労者の生活と福祉の向上に尽力されていることに深く敬意を表します。

さて、現在、我が国は、世界情勢が混沌とし不透明感が続く中で、長期化する物価高を始め、少子高齢化・人口減少、地域コミュニティの衰退、頻発する自然災害といった課題に直面しております、人々の暮らしを守り、未来を見据え、持続可能な地域社会を創ることが

求められています。

こうした様々な課題に対応するため、私たち基礎自治体は、それぞれの地域の実情に応じた取組を進めるとともに、自治体同士が、共に補完関係を保ち、協調して、広域的に発展できるよう取り組んでいるところです。

個々の状況にしっかりと寄り添いながら、社会全体を広く俯瞰し、あらゆる地域で、人々が、お互いに助け合い・支え合う地域共生社会の実現に向けて邁進してまいりますので、皆様には今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



広島県町村会（坂町長）

会長 吉田 隆行

謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より労働者福祉の向上にご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国の状況は、例年同様に発生する豪雨や台風だけでなく、大船渡市や大分市佐賀関をはじめ各地で頻発した大規模火災、八潮市の下水管破損による大規模な道路陥没事故、クマによる人的被害の急増など、想像を超えるほど様々な形で住民の安全が脅かされた年でした。

また、我が国の景気動向は、米国の関税等

の影響はあるものの引き続きゆるやかな回復傾向にありますが、消費者物価の高騰に歯止めがかかるない状況となっており、住民の生活に大きな影響を及ぼしております。

このような中で、私ども地域の行政を預かる者といたしましては、安心・安全で持続可能な地域社会を実現するため、当面の課題である物価高対策や人口減少対策をはじめ、激甚化する自然災害への対応、老朽化が進行するインフラへの対策等、諸課題に全力を挙げて取り組んでまいる所存でございますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。





連合広島

会長 大野 真人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、連合広島の諸活動に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返れば、物価の高騰が継続し、米問題、そして全国各地で地震・豪雨などの自然災害に加え、林野火災が多く発生した1年となりました。また、地球温暖化による気候変動に伴い生態系への影響も見受けられるようになり、至近では、人の生活圏へ熊が出没し事故が多発しています。加えて、少子高齢・人口減少が進む中で、日本社会や産業構造のあり方・働き方も大きく変わろうとして

います。

迎えた2026年、私たち連合広島としては、将来に向けて、包摂的で持続可能な地域社会の実現に向けて取り組むことが重要と認識しています。そのためにも、春季生活闘争で結果を残すとともに、すべての働く仲間・生活者が抱えている不安を払拭するための政策課題の実現に向けて取り組みを強化してまいります。

また、労福協の理念となる、すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、広島県労福協に集う仲間の皆様と連携を図りながら、運動を推進していく所存です。2026年が、輝かしい1年となりますように、共に歩みを進めて行きましょう。



中国労働金庫 中部エリア営業本部

本部長 善積 昭之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、広島県労福協会員の皆様には、中国ろうきんの事業推進に対しまして、格別なご支援・協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2025年度も残り3か月となりました。今年度の事業計画の達成に向けて、特に預金は厳しい状況になっておりますが、県内役職員一体となって、一生懸命に取り組んでいきますので、広島県労福協会員の皆様の力強いサポートを、どうか、よろしくお願ひいたします。

新たな店舗戦略として掲げた業容拡大ブロックが2025年4月からスタートしましたが、皆様のご支援・ご協力によって、順調に進んでおります。本当にありがとうございました。また、2026年4月からプレスタートします基盤強化ブロック（尾道・三原・因島、大竹）においても、同様に県労福協会員の皆様の引き継ぎの力強いご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新年が広島県労福協会員の皆さまとご家族にとりまして、輝かしく素晴らしい年になりますことをご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。





こくみん共済 coop 広島推進本部

本部長 寺戸 裕司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当会の諸活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、私どもこくみん共済 coop は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念の実現をめざし、各種取り組みを進めてまいりました。本年は、デジタル化による利便性向上に加え、南海トラフ巨大地震など災害への備えを強化し、万一の際にも生活の安定を確保できる体制づくりを進めてまいります。共済は「支え合いの輪」を広げる事業です。協力団体の皆様との連携をさらに深め、安心と信頼をお届けできるよう誠心誠意取り組んでまいります。結びに、新年が皆さんにとりまして輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

こくみん共済 NEWS

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。



こくみん共済 coop 公式キャラクター ピットくん

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

(広島県労働者共済生活協同組合)



一般社団法人 広島県労働会館

理事長 藤井 則正

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申しあげます。

広島県労働会館は、厳しい事業環境の中でも「勤労者の集える場を提供する」という使命のもと、会議・研修事業の回復や旅行事業の拡大、組織運営の改善に取り組み、次の発展に向けた基盤づくりを進めてまいりました。日頃より温かいご支援をいただいております会員の皆様に、あらためて感謝申しあげます。

また、各地で続く災害からの復旧に向け努力されている皆様に、改めて敬意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。

昨年は地域貢献として、福山みやびでは8月に子ども食堂を開設し、ワークピア広島では12月より中高生の自習室の運営を開始いたしました。子どもたちの居場所づくりを通じて、地域とともに歩む会館の役割を一層果たしてまいります。

本年の干支である午は活力と前進を象徴すると言われます。この精神を胸に、より良い会館運営と勤労者福祉の向上に努めてまいります。

2026年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

一般社団法人 広島県労働会館

広島市・福山市の貸会議室・宴会場をお探しの方へ
ご利用シーンに合わせた最適な空間をご提供します。
ビジネス会議(リモート WEB会議)にも対応!から 記念イベントまで、さまざまな
用途に対応可能!

ユニオントラベル広島 <旅行部門>

私たちにお任せください!

労働組合の団体旅行なら、当代理店にお任せください!
親睦会から研修旅行まで、目的に合わせたプランを安心価格
でご提供。経験豊富なスタッフが、企画から手配まで全力でサ
ポートします。まずはお気軽にご相談を!

ワークピア広島では、2025年から中高生向けの自習室をスチ
トしました! 利用方法は、会館ホームページをご覗ください。

ワークピア 広島



広島県生活協同組合連合会

会長理事 岡村 信秀

激変する現段階・協同組合の本質を考える

新年明けましておめでとうございます。激変する現段階、改めて協同組合の本質について考えてみます。

◆協同組合の主体は組合員であり組合員のくらしの基盤はコミュニティの中に存在します。よって協同組合は持続可能なコミュニティの維持・発展を事業や活動の中心軸に据えることは重要な戦略課題となります。

◆人々のくらしの営みは、家庭や地域の中で

「購買協同」（商品の買い物の協同）と「福祉協同」（福祉・子育て支援などの協同）が密接に関連し合い営まれておらず、切り離すことはできません。よって協同組合は発展の過程で必然的に“購買協同+福祉協同→くらし発協同”へと協同の質を高めていくことになります。

◆協同組合は最大の特性である“協同”を怠り利益偏重主義に陥る場合があります。よって“協同と事業のバランスの維持”は協同組合の重要な課題となります。

新年を迎えるにあたって、改めて協同組合の本質に向き合い、「誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生」に向け邁進していきたいと思います。

地区会長

年頭のあいさつ



大竹・甘日市地区労福協

会長 迎 尚樹

新年あけましておめでとうございます。

大竹・甘日市地区労福協は勤労者の片翼として、連合との連携も意識しながら福祉の成長を目指し、新たな繋がりを共創させる取り組みに挑戦します。

本年も皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

以上



広島西地区労福協

会長 沖村 龍洋

新年あけましておめでとうございます。

広島西地区労福協では、「誰一人取り残さない」のかけ声のもと、一人一人への声掛けを基本に活動して参ります。

多様化する社会へ対応するため一人一人の声を基に組織や活動方法を変え、取り組みを活性化させて参りたいと思います。



広島中央地区労福協

会長 後藤 孝秀

共助の輪を地域に

明けましておめでとうございます。

広島中央地区労福協は従来の活動を中心に本年も労働団体、福祉事業団体と連携し、「ささえあい・たすけあい」といった共助の輪を地域に広めて参ります。先行き不透明で将来不安が尽きない情勢ではありますが、だからこそ、労福協運動の果たすべき役割はますます大きくなっていると認識しているところであります。

本年も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



広島東地区労福協

会長 相原 博

新年あけましておめでとうございます。

広島東地区労福協では、“会員の皆さまのためにできること”を合言葉に、新たな取り組みを進めてまいりました。

地域のつながりや団体間の連携を通じて、成果と手応えを感じております。本年も、「福祉はひとつ」の理念のもと、勤労者とそのご家族が安心して暮らせる社会づくりに向け、活動をさらに深めてまいります。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



呉地区労福協

会長 佐伯 圭一

新年、明けましておめでとうございます。

昨年、11月に呉地区会長に選任されました。諸先輩方が築いてこられた福祉事業団体と労働組合の連携、共同の輪を基本とし地区運営と各種活動を進めていきます。

引き続き、皆さまのご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。



三原地区労福協

会長 岩田 和洋

新年明けましておめでとうございます。

本年も、働く仲間の生活と福祉の向上に向け、地区役員や地域の皆さんと力を合わせ、会員組織と共に労働者自主福祉運動の推進に努めて参ります。

引き続き皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



福山地区労福協

会長 木村 英明

新年あけましておめでとうございます。

昨年は初めて「フードドライブ」「子ども食堂」にチャレンジしてきました。これまで会員向けの活動を中心であります。会員組織とともに地域に発信できる活動も取り入れながら活動の充実を目指していきます。



備北地区労福協

会長 原 勝明

新年あけましておめでとうございます。

備北地区労福協は、福祉事業団体と連携して地域に根ざした会員交流活動を展開し、「つながり」を大切にした勤労者福祉の充実をめざしていきます。また、昨年は連合広島とも連携して「フードドライブ」のとりくみを始めたところです。今後もフードドライブへの理解や支援が拡がっていくように活動を展開して参ります。

引き続き皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



賀茂豊田地区労福協

会長 田部 洋治

新年、明けましておめでとうございます。

今年も、地域をはじめ、構成組織・福祉事業団体の皆様とより一層連携を強め、労働者福祉の充実、向上にむけ労福協活動を共に推進していきましょう。

可処分所得の減る中、物価高騰で不安は尽きませんが、支えあえる社会の輪を広げる活動に努めてまいりますので、本年も、ご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。



尾道地区労福協

会長 神尾 雅志

新年明けましておめでとうございます。

労働者福祉の原点は、勤労者相互の連帯強化にあるとの認識のもと、昨年も福祉事業団体をはじめとした関係者の皆様と連携し、地域に根ざした活動に取り組みました。

本年も、関係者の皆様と連携し、地区での活動を通じて労働者福祉の向上に一層取り組んでいきたいと考えています。本年も皆様方の引き継いでいるご支援、ご協力をお願いいたします。



府中地区労福協

会長 西林 弘泰

新年明けましておめでとうございます。

組合員の頑張りにより一定の賃上げ傾向にあります。景気の高揚や物価の高騰による効果が私たち勤労者には届いていない状況が続いています。

引き続き、勤労者福祉の向上に向けた労福協活動の活性化が求められています。

今年も府中地区を盛り上げていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。





HIROSHIMA労福協 2026年お年玉クイズ

クイズの正解者の中から、抽選で20名様に、
3,000円のギフトカードを進呈！



問題

下記の①～⑤の問題文の（　　）に入る言葉は？

選択肢の中から正解だと思うものを一つ選んでください。

- ① 県労福協=（　　）としての機能を一層強化してまいります…
A. 心の拠り所 B. 唯一の拠り所 C. 勤労者福祉の拠り所
- ② ろうきん=2026年4月からプレスタートします（　　）…
A. 収益確保ブロック B. 基盤強化ブロック C. 業容拡大ブロック
- ③ こくみん共済=共済は（　　）を広げる事業です。…
A. 支え合いの輪 B. 知恵の輪 C. 共助の輪
- ④ 連合広島=将来に向けて、（　　）で持続可能な地域社会の実現…
A. 統一的 B. 包摂的 C. 包括的
- ⑤ 広島県労働会館=ワークピア広島では12月より（　　）の運営を開始…
A. 中高生の自習室 B. こども食堂 C. 会館



ヒント：それぞれ代表者の挨拶文の中にあります。

●クイズの応募は、「広島県労福協」のホームページから 

URLは、<https://hiroshima-rofuku.net/> 広島県労福協  検索



締め切りは、2026年2月6日(金)。

当選者は、「広島県労福協」のホームページおよび機関紙4月号に掲載し、賞品を発送します。

今、私ができること。
今、あなたができること。

高等教育費の負担軽減を



私たちが求めるこ

- 1 授業料を半額に
- 2 大学等修学支援制度の拡充を
- 3 授与金返済の負担軽減を

Onlineで声を届けよう

公的負担の大幅拡充を!

団体賛同・個人署名はこちから



私たちのアクションに
ご参加ください！

すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト